

4年生 6月のようす

社会科の授業で、水道の仕組みについて学習しました。まず、学校の水飲み場に目を向けさせ、どこから蛇口に水が来て、排水溝からどこへ行くのかということを考えさせました。「海から来て、海に戻る。」「雨の水を使う。」「川の水を使う。」「シャボネットのようなパイプが中にも通っている。」など、様々な意見が出てきました。

その後、授業を進めていくと「海や川の水そのままでは飲めない。」「うがいした水やトイレで流したものをそのまま川に戻せない。」という気づき生まれ、そこから【水をきれいにして送ってくれる施設】と【使用後の水をきれいにしてくれる施設】の存在の必要性に気づくことができました。

最後に、学校の水の流れの確認と言うことで、校舎裏側にあるパイプやマンホールを見に行きました。子どもからは「あ、汚水って書いてある。汚れた水ってことは、使い終わった水がここに流れているんだ。」と発言する姿も見られました。



養護教諭による、はみがき指導の学習を行いました。全学年までとのちがいは「噛むこと」にも目を向けさせることです。実際に指導用のガムを噛んで、噛むときに使う歯や噛む回数を意識させる授業が行われました。

後半は、毎年恒例のカラーテスタータイムですが、4年生は歯みがき上手が多いようで、ほとんどピンク色にならない子もいました。それでも歯と歯の間や、歯の裏側の歯と歯茎の間など、よこれが残っているところがあったので、そののみがき方も指導をしました。乳歯から永久歯への生え替わりの時期、ぜひ今後も歯を大切にしていってほしいです。

